

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		パフォーミングアーツゼミ		
授業名	パフォーミングアーツゼミⅠ	担当教員名	さえ／ひな	
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
個人が自発的に考え、行動、発言できるよう、思考や発想を共有し、実際にダンサーとしても体现できる、技術力対応力をつけながら、作品(振付)として形にできる力をつける。				
授業の内容				
担当が二人いることを良しとし、到達目標に向けて、毎回内容としては全く違うことを実施しようと思っています。同じ事を反復させる事を授業内では目的とせず、個人が自身の時間と考えで深めていけるアイデアと感覚を渡し、ディスカッションしていきます。				
【実務経験】アーティストライブ・ツアー 演出及び振り付け、MV・CMなど振り付け				
回数	授業形態	内容		
1	演習	「クリエイション」について話す。WUの大切さと、自分自身で考えてアップしていく感覚		
2	演習	身体ワーク。ストリートジャンルのコレオをコンテティストに組み替えてもらう。		
3	演習	ペアで踊る。人と踊る。会話の様に踊る。		
4	演習	絵コンテ等の資料を元に、CMの振付を作ってみよう		
5	演習	短い振付、フレーズを短時間で作り、構成・フォーメーションを加えていく		
6	演習	2グループに分けて同じ曲で映像作品を作ってみよう。		
7	演習	ポージング作りを学び、そこに芝居的な心情を乗せていくワーク		
8	演習	色々な種類の作品を観てみよう。知識を付ける方法。コンテワーク、クロスフロア。		
9	演習	1日で1つの作品を作る。学生達がどこまでオーダーや振付について来れるのかチェック。		
10	演習	2週かけて、1作品作ります。二週かける理由として、二週目に対して練習してくる事、変更修正に対するの対応力をつける。		
11	演習			
12	演習	学生達に作品を作ってもらう。制限時間を決めて、随時オーダーを追加。素早く対応する為のトレーニング。		
13	演習	インプロで各自のそれぞれのスタイル確立を目的に“好みに沢山踊る”という事ができるかにトライ		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		次の時間に取り組む場面の構想・アイデアを考えてきてください。		
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験 100%	
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ		ダンススキルをしっかりと学ぶ学生生活の中で、そこだけでなく、学生ながらにクリエイターとして自分のダンスや作品を世の中へ発信できる技を掴んでください。		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		パフォーミングアーツゼミ		
授業名	パフォーミングアーツゼミⅡ	担当教員名	さえ／ひな	
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
個人が自発的に考え、行動、発言できるよう、思考や発想を共有し、実際にダンサーとしても表現できる、技術力対応力をつけながら、作品(振付)として形にできる力をつける。				
授業の内容				
担当が二人いることを良しとし、到達目標に向けて、毎回内容としては全く違うことを実施しようと思っています。同じ事を反復させる事を授業内では目的とせず、個人が自身の時間と考えで深めていけるアイデアと感覚を渡し、ディスカッションしていきます。				
【実務経験】アーティストライブ・ツアー 演出及び振り付け、MV・CMなど振り付け				
回数	授業形態	内容		
1	演習	「クリエイション」について話す。WUの大切さと、自分自身で考えてアップしていく感覚		
2	演習	身体ワーク。ストリートジャンルのコレオをコンテティストに組み替えてもらう。		
3	演習	ペアで踊る。人と踊る。会話の様に踊る。		
4	演習	絵コンテ等の資料を元に、CMの振付を作ってみよう		
5	演習	短い振付、フレーズを短時間で作り、構成・フォーメーションを加えていく		
6	演習	2グループに分けて同じ曲で映像作品を作ってみよう。		
7	演習	ポージング作りを学び、そこに芝居的な心情を乗せていくワーク		
8	演習	色々な種類の作品を観てみよう。知識を付ける方法。コンテワーク、クロスフロア。		
9	演習	1日で1つの作品を作る。学生達がどこまでオーダーや振付について来れるのかチェック。		
10	演習	2週かけて、1作品作ります。二週かける理由として、二週目に対して練習してくる事、変更修正に対するの対応力をつける。		
11	演習			
12	演習	学生達に作品を作ってもらう。制限時間を決めて、随時オーダーを追加。素早く対応する為のトレーニング。		
13	演習	インプロで各自のそれぞれのスタイル確立を目的に“好きに沢山踊る”という事ができるかにトライ		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		次の時間に取り組む場面の構想・アイデアを考えてきてください。		
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験 100%	
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ		ダンススキルをしっかりと学ぶ学生生活の中で、そこだけでなく、学生ながらにクリエイターとして自分のダンスや作品を世の中へ発信できる技を掴んでください。		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		フィジカルエデュケーション	
科目名	フィジカルエデュケーションⅠ	担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	エンターティナーとしてのパフォーマンス力の向上、および怪我をしないための知識・心構え・準備運動の方法などを獲得する。		
授業の内容	骨格、筋肉の付き方などを解剖学に学び、最大のパフォーマンスを得るための知識・技術へと繋げる。 長期間にわたり第1線で活躍し続けられる体作りのため、栄養学や運動生理学の観点から必要な知識を広く学びます。		
【実務経験】	USJにてエンターティナーとして実務。バックダンサー・インストラクターを経験。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	体の構成要素と栄養	
2	演習	体の構成要素と栄養	
3	演習	体の構成要素と栄養	
4	演習	人体の構造	
5	演習	人体の構造	
6	演習	人体の構造	
7	演習	怪我予防の知識	
8	演習	怪我予防の知識	
9	演習	怪我予防の知識	
10	演習	怪我予防の知識	
11	演習	怪我をした際の対処方法	
12	演習	怪我をした際の対処方法	
13	演習	怪我をした際の対処方法	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	筆記試験50% 課題50%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		フィジカルエデュケーション	
科目名	フィジカルエデュケーションⅡ	担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	エンターティナーとしてのパフォーマンス力の向上、および怪我をしないための知識・心構え・準備運動の方法などを獲得する。		
授業の内容	骨格、筋肉の付き方などを解剖学に学び、最大のパフォーマンスを得るための知識・技術へと繋げる。 長期間にわたり第1線で活躍し続けられる体作りのため、栄養学や運動生理学の観点から必要な知識を広く学びます。		
【実務経験】	USJにてエンターティナーとして実務。バックダンサー・インストラクターを経験。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	解剖学と筋カトレーニング	
2	演習	筋カトレーニング	
3	演習	筋カトレーニング	
4	演習	筋カトレーニング	
5	演習	解剖学と準備運動	
6	演習	準備運動	
7	演習	準備運動	
8	演習	準備運動	
9	演習	運動生理学	
10	演習	運動生理学	
11	演習	運動生理学	
12	演習	運動生理学	
13	演習	運動生理学	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	筆記試験50% 課題50%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	JAZZ HIPHOP I	担当教員名	島谷 有香 (yu-ka)	
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	ダンスを踊るための基礎を身につける。音楽をしっかり聴き音に合った表現の仕方を身につける。			
授業の内容	ストレッチ、筋トレ、基礎、ルーティーン			
【実務経験】 JAMOSA/MINMI/青山テルマ/GENERATIONS/EXILE バックダンサー 関西コレクション KCEステージ振付				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチや基礎を重点的に		
2	演習	アイソレーションの強化		
3	演習	アイソレーションの応用		
4	演習	ポージング、ウォーキングの仕方		
5	演習	身体の線の見せ方		
6	演習	表現表情の出し方		
7	演習	スローな音楽での身体の動かし方		
8	演習	アップテンポな音楽での身体の動かし方		
9	演習	ルーティーンをクリアに踊る		
10	演習	ルーティーンに自分の色を付ける		
11	演習	ルーティーン+フリーの強化		
12	演習	少人数で踊り自分の踊りを見つめなおす		
13	演習	試験と振り返り		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ストレッチ・筋トレでダンスに必要な体づくりをする			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	毎週の継続性と積み重ねが大切です。いろいろな音楽を聴きストリートダンスの楽しさを知って欲しいです。			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	JAZZ HIPHOP II	担当教員名	島谷 有香 (yu-ka)	
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	ダンスを踊るための基礎を身につける。音楽をしっかり聴き音に合った表現の仕方を身につける。			
授業の内容	ストレッチ、筋トレ、基礎、ルーティーン			
【実務経験】 JAMOSA/MINMI/青山テルマ/GENERATIONS/EXILE バックダンサー 関西コレクション KCEステージ振付				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチや基礎を重点的に		
2	演習	アイソレーションの強化		
3	演習	アイソレーションの応用		
4	演習	ポージング、ウォーキングの仕方		
5	演習	身体の線の見せ方		
6	演習	表現表情の出し方		
7	演習	スローな音楽での身体の動かし方		
8	演習	アップテンポな音楽での身体の動かし方		
9	演習	ルーティーンをクリアに踊る		
10	演習	ルーティーンに自分の色を付ける		
11	演習	ルーティーン+フリーの強化		
12	演習	少人数で踊り自分の踊りを見つめなおす		
13	演習	試験と振り返り		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ストレッチ・筋トレでダンスに必要な体づくりをする			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	毎週の継続性と積み重ねが大切です。いろいろな音楽を聴きストリートダンスの楽しさを知って欲しいです。			

総合芸術科昼間部 I 部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	HIPHOPV	担当教員名	konitan
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	基礎の重要性を理解し、振付などでの応用に活かすことが出来る		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する HIPHOPの軸となるリズムを中心とした基礎、また技術のみならず、メンタル面においてのトレーニングで心技ともに磨く		
【実務経験】ユニバーサル・スタジオジャパン・SPECTA光のライトショー・TRUE SKOOL 優勝			
回数	授業形態	内容	
1	演習	オリエンテーション	
2	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付1	
3	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付1のつづき	
4	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付1のつづき	
5	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付2	
6	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付2のつづき	
7	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付2のつづき	
8	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付3	
9	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付3のつづき	
10	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付3のつづき	
11	演習	試験に向けての復習	
12	演習	試験内容の練習	
13	演習	試験と振り返り	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	振りの確認、復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	心身ともに強くなるために自分と向き合きましょう		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション	
授業名	HIPHOPVI	担当教員名	konitan
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	基礎の重要性を理解し、振付などでの応用に活かすことが出来る		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する HIPHOPの軸となるリズムを中心とした基礎、また技術のみならず、メンタル面においてのトレーニングで心技ともに磨く		
【実務経験】ユニバーサル・スタジオジャパン・SPECTA光のライトショー・TRUE SKOOL 優勝			
回数	授業形態	内容	
1	演習	オリエンテーション	
2	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付1	
3	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付1のつづき	
4	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付1のつづき	
5	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付2	
6	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付2のつづき	
7	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付2のつづき	
8	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付3	
9	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付3のつづき	
10	演習	HIPHOPの表現とフリースタイル・振付3のつづき	
11	演習	試験に向けての復習	
12	演習	試験内容の練習	
13	演習	試験と振り返り	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	振りの確認、復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	心身ともに強くなるために自分と向き合きましょう		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション	
科目名	テレビ照明	担当教員名	中西 正人
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	3年次
教室		教室	
授業の到達目標 テレビ照明の実技に、考えて動き、照明プランを理解するレベル。学んだ事を、実技を通して体得していくようにする。スタジオでの実技と屋外でのロケ照明を学び、人間力を高めて行くよう授業方針とする。			
授業の内容 今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います			
【実務経験】株式会社キレイ 代表取締役。SUN-TV照明担当を30年務めたのちに独立。クイーン神戸フェスティバルにて日本照明家協会賞 奨励賞を受賞。舞台・テレビジョン照明技術者技能認定1級。電気工事士1級			
回数	授業形態	内容	
1	演習	ロケーション照明PERTⅡ 室内撮影編	
2	演習	ロケーション照明PERTⅡ 室内撮影編	
3	演習	CM照明	
4	演習	CM照明	
5	演習	ドラマ番組の照明	
6	演習	ドラマ番組の照明	
7	演習	ドラマ番組の照明	
8	演習	音楽番組の照明	
9	演習	音楽番組の照明	
10	演習	音楽番組の照明	
11	演習	ワイドショー番組・報道番組の照明	
12	演習	ワイドショー番組・報道番組の照明	
13	演習	ワイドショー番組・報道番組の照明	
14	演習	後期まとめ、テレビ照明の未来、後期期末試験	
15	演習	後期まとめ、テレビ照明の未来、後期期末試験	
準備学習 時間外学習		舞台・テレビジョン照明/基礎編	
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験40% 筆記試験60%
教材	教科書	舞台・テレビジョン照明/基礎編	
	参考書	舞台テレビジョン照明【技能編】【知識編】/新版 映像ライティング	
学生へのメッセージ		照明歴50年を振り返って思うのは、個人の能力には大きな差はないです。くじけずにやってこれたのは、ただひとつ。自分がやっている「仕事が好きだ」という事。ただそれだけで持続できたのです。好きな道を力強く歩んでください。	

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション	
科目名	PAテクニック	担当教員名	澤田真一
時間数	180	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	音響基礎知識の習得、音響測定の基本知識の習得、音場における特性の理解		
授業の内容	前期では集中的に、今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います		
【実務経験】 1) Mr.Churudrenコンサートツアー・ラックシステム・プラン 2) 関ジャニ∞音響プランナー 3) 薬師寺「最勝会」文化芸術大賞公演・音響プランナー 4) シンフォニー・ピックバンド オペレート			
回数	授業形態	内容	
1	演習	イントロダクション／デジタルミキサー(復習)	
2	演習	コンプ、ゲートの原理と使用(機器と音についての理解)	
3	演習	リバーブ、ディレイの原理と使用(機器と音についての理解)	
4	演習	スピーカーシステム-1 規模別の紹介／周波数と波長	
5	演習	スピーカーシステム-2 プロセッサについて	
6	演習	スピーカーシステム-3 スピーカーの指向性	
7	演習	スピーカーシステム-4 ポイントソースとラインアレー／グラウンドスタックとフライング	
8	演習	スピーカーシステム-5 ディレイスピーカーシステム	
9	演習	音響測定について-1(音響測定のコセを理解する)	
10	演習	音響測定について-2(音響測定のコセを理解する)	
11	演習	メンテナンス-1 PS-15の実際例	
12	演習	メンテナンス-2 UPAの実際例	
13	演習	前期復習・テスト	
14	演習	(ワークショップ)	
15	演習	(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	他の実習授業や学校イベント等での音場における問題点を経験することで、解決が必要な問題点と出合っていくことが、予備授業となります。本授業では、それらの問題点を測定器も用いて解決方法を解説します。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	筆記試験50% 実技試験50%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	今できることをきちんと学びましょう！		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション	
科目名	イベントデザイン1	担当教員名	梶原 義明・山之口 裕子・山田 睦美
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	3年次
教室		教室	
授業の到達目標	<p>「コンサートやイベントを作る」という仕事を理解し、今後、参加していくイベントに向けて必要なスキルを習得することを目指します。イベントやライブ・コンサートが出来上がるまでの大きな流れと、難しさ、面白さを理解し、実際に「企画・制作・運営」ができるようになることを目指します。（資料作成・段取りの組み方などのスキル習得を目指します）</p>		
授業の内容	<p>前期では集中的に、今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います</p>		
【実務経験】	<p>梶原： イベント関係全般（皇室行事・式典・音楽・販促・集客・管理等）の制作・進行・運営のあらゆるシーンに従事。 山之口： プロダクションでのマネージメント、大型フェス・ファッションショーでの制作業務に従事。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	イベントデザインの授業や取り組みに関して	
2	演習	イベントとは	
3	演習	ビジネスマナーを学ぶ	
4	演習	イベント制作の基礎知識①（イベントを作る工程や役割を理解する）	
5	演習	イベント制作の基礎知識②企画立案するための「アイデア&リサーチ」方法について	
6	演習	イベント制作の基礎知識③アイデアをまとめる	
7	演習	イベント制作の基礎知識④アイデアを書類へ「企画書の作り方」について	
8	演習	イベント制作の基礎知識⑤制作スケジュールの作成方法と必要性について	
9	演習	イベント制作の基礎知識⑥収支を含む必要経費などの算出、概算予算について	
10	演習	" ⑦企画内容をプレゼンテーションするための準備とプレゼン方法について	
11	演習	プレゼンテーション(1)	
12	演習	プレゼンテーション(2)	
13	演習	イベントデザイン前期まとめとプレゼンの総評などの調整日	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	講義に関する情報を自分なりにまとめ、前週の課題を次週へ向けて仕上げる。（資料作成など）		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	1. 実技試験 50%（プレゼンテーションの準備や成果を考慮） 2. 筆記試験 50%（企画書の準備や仕上がりを考慮）	
教材	教科書	適宜、必要資料の配布	
	参考書		
学生への メッセージ	【企画】【制作】といわれるイベントを作る仕事をよく理解し、まずはその第一歩である企画に関する工程の基礎を学んでください。後期に予定されている実務に向けてまずは知識を身につけましょう。		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション	
科目名	Vectorworks2	担当教員名	吉川 久子
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>基本的な図面から作成し、課題を定めて数回に分けて提出してもらいます。 CADを使用する利便性、使用する目的を考え、それに基づく操作方法を習得します。</p>		
授業の内容	<p>前期では集中的に、今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います</p>		
【実務経験】 株式会社スタッフユニオンにて舞台美術の製作に携わる			
回数	授業形態	内容	
1	演習	Vector Woksの応用操作、2Dツール詳細	
2	演習	応用操作を使用した課題作成	
3	演習	Vector Woksの応用操作、2Dツール詳細	
4	演習	応用操作を使用した課題作成	
5	演習	Vector Woksの応用操作、2Dツール詳細	
6	演習	応用操作を使用した課題作成	
7	演習	製図基本について、2Dツール詳細	
8	演習	製図基本に則した課題作成	
9	演習	三面図について、2Dツール詳細	
10	演習	三面図の課題作成	
11	演習	三面図の課題作成	
12	演習	三面図の課題作成	
13	演習	基本、応用操作を使用した図面作成	
14	演習	基本、応用操作を使用した図面作成	
15	演習	基本、応用操作を使用した図面作成	
準備学習 時間外学習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	課題 100%	
教材	教科書	Vector Woksではじめるインテリアデザイン	
	参考書	オリジナル教材	
学生への メッセージ	<p>扱う種類は違っても、図面を描く・読むことは必須となります。 1つでも多く得意な事を増やし、自信を持って図面を描いてみましょう。</p>		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション	
科目名	舞台機構2	担当教員名	坂本 充勇
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	舞台に必要な基礎知識並びに安全作業及び職業環境に対する意識向上を身に付ける		
授業の内容	前期では集中的に、今後、参加を予定しているイベント制作過程において、その際に必要なスキルや情報を学ぶ講義などを行います。講義に対しての課題とし資料提出やその他必要になれば様々な課題の追加なども行います		
【実務経験】株式会社スタッフユニオンにて勤務。舞台監督、美術に従事。 2018年より株式会社ザ・シンフォニーホール ステージマネージャーとして勤務。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	前期の振り返りと後期の目標	
2	演習	重要無形文化財を知る	
3	演習	重要無形文化財を知る	
4	演習	重要無形文化財を知る	
5	演習	舞台化される古典文学に興味を持つ①	
6	演習	舞台化の実際を観る	
7	演習	舞台化の実際を観る	
8	演習	舞台化の実際を観る	
9	演習	舞台化される古典文学に興味を持つ②	
10	演習	舞台化の実際を観る	
11	演習	舞台化の実際を観る	
12	演習	舞台化の実際を観る	
13	演習	舞台化される古典文学に興味を持つ③	
14	演習	舞台化の実際を観る	
15	演習	舞台化の実際を観る	
準備学習 時間外学習	たくさん作品を観ましょう。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	筆記試験50% 課題50%	
教材	教科書	自作編集の冊子	
	参考書	特に無し	
学生への メッセージ	舞台で使用される言葉・機構・物の歴史的背景を学び理解を深めましょう。		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		スタッフワークコミュニケーション		
科目名	舞台美術デザイン2	担当教員名	あまのしげ	
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	舞台美術デザインの基礎的表現力を身につけることができる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 舞台美術デザインの基礎的演習を行う。デザイン表現に於いて、創造力、表現力と何事かへの関心度が求められる。演習課題から基礎的表現力をつけ、さらには自主的に表現することの喜びを感じ取ってもらいたい。			
【実務経験】1982年の活動開始より、44回にわたり個展を開催。岸和田市文化振興審議会委員、岸和田市景観審議会委員、岸和田文化事業協会理事等を歴任。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業のあらましと、評価の方法		
2	演習	ランプシェード 立体と光の構成		
3	演習	ランプシェード 立体と光の構成		
4	演習	色相環 色彩の多様な変化と想像		
5	演習	色相環 色彩の多様な変化と想像		
6	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現		
7	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現		
8	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現		
9	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現		
10	演習	オブジェ 立体の表現と構成		
11	演習	オブジェ 立体の表現と構成		
12	演習	オブジェ 立体の表現と構成		
13	演習	ポートフォリオ 作品の整理とデータ化		
14	演習	ポートフォリオ 作品の整理とデータ化		
15	演習	ポートフォリオ 作品の整理とデータ化		
準備学習 時間外学習	道具の取り扱い、メンテナンスを丁寧にする			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	課題 100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	もの、他者、自分へ興味を持つこと。			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	バレエⅤ		担当教員名	角野由佳
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	バレエの基礎的なことがわかった上で、バーレッスンでの体幹作り、他のダンスへの活かし方、実践に強くなる精神面、パフォーマンスの向上をさらに強化			
授業の内容	バレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。			
【実務経験】 OSM/バレエ講師…1995年～2005年、DA/バレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校				
回数	授業形態	内容		
1	演習	各自、自己紹介、バーレッスン、センターレッスン途中まで		
2	演習	バーレッスン、センターレッスン		
3	演習	バーレッスン、センターレッスン		
4	演習	バーレッスン、センターレッスン		
5	演習	バーレッスン、センターレッスン		
6	演習	質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン		
7	演習	バーレッスン、センターレッスン		
8	演習	バーレッスン、センターレッスン		
9	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
10	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
11	演習	試験の振付		
12	演習	試験と振り返り		
13	演習	後期に向けての課題確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ストレッチ、コアトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ダンスコミュニケーション		
授業名	バレエⅥ	担当教員名	角野由佳	
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	バレエの基礎的なことがわかった上で、バーレッスンでの体幹作り、他のダンスへの活かし方、実践に強くなる精神面、パフォーマンスの向上をさらに強化			
授業の内容	バレエの基本姿勢で、ダンスに必要な体幹、他のダンスにもどうかすかを理解させながら、バーレッスンからセンターレッスンへ進める。			
【実務経験】 OSM/バレエ講師…1995年～2005年、DA/バレエ講師…2008年～2019年現在に至る 1999年尼崎市武庫之荘スミノバレエ開校				
回数	授業形態	内容		
1	演習	各自、自己紹介、バーレッスン、センターレッスン途中まで		
2	演習	バーレッスン、センターレッスン		
3	演習	バーレッスン、センターレッスン		
4	演習	バーレッスン、センターレッスン		
5	演習	バーレッスン、センターレッスン		
6	演習	質問、疑問受付、その後バーレッスン、センターレッスン		
7	演習	バーレッスン、センターレッスン		
8	演習	バーレッスン、センターレッスン		
9	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
10	演習	バーレッスン、センターレッスン、長めの振付		
11	演習	試験の振付		
12	演習	試験と振り返り		
13	演習	課題設定と振付確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	ストレッチ、コアトレーニング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	ほぼ初バレエの生徒が多いため、好きでも嫌いでも、バレエはダンスに必要なことを理解してもらい、将来に繋げる為、努力してほしいと思います。楽しく厳しくレッスン進めたいと思います。			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目			ダンスコミュニケーション	
授業名	JAZZ V		担当教員名	MICHI
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標 学生の持つ身体能力を高め、ダンステクニックの向上、表現力を身につける。自信をもって個性を活かしダンスを披露できる力をつける。				
授業の内容 ストレッチをし、身体の使い方を説明し、ダンスに必要な基礎を教え、ダンスの楽しさと難しさを伝える。個性を確立するためのワーク				
【実務経験】 スタジオ経営しています。JAPAN DANCE DELIGHT 2016 FINALIST JAZZ SENSATION 2015 2位				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・クロスフロア・コンビネーション		
2	演習	ストレッチ・プリエ・コンビネーション		
3	演習	ストレッチ・コンビネーションを長くして振り憶えの強化		
4	演習	ストレッチ・クロスフロア・タンジュ等基礎メイン		
5	演習	ストレッチ・プリエ・タンジュ・ジャンプ強化		
6	演習	表現力を押し出したコンビネーションで個性を出す練習		
7	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・クロスフロア・コンビネーション		
8	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・タンジュ・コンビネーション		
9	演習	協調性をつける為グループでコンビネーション		
10	演習	協調性をつける為グループでコンビネーション		
11	演習	ストレッチ・プリエ・タンジュ・クロスフロア・コンビネーション		
12	演習	試験振り渡しと振り返り		
13	演習	試験と振り返り		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習		
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験:100%	
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ		苦手なことを主にがんばって努力して欲しいです。		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目			ダンスコミュニケーション	
授業名	JAZZVI		担当教員名	MICHI
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標 学生の持つ身体能力を高め、ダンステクニックの向上、表現力を身につける。自信をもって個性を活かしダンスを披露できる力をつける。				
授業の内容 ストレッチをし、身体の使い方を説明し、ダンスに必要な基礎を教え、ダンスの楽しさと難しさを伝える。個性を確立するためのワーク				
【実務経験】 スタジオ経営しています。JAPAN DANCE DELIGHT 2016 FINALIST JAZZ SENSATION 2015 2位				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・クロスフロア・コンビネーション		
2	演習	ストレッチ・プリエ・コンビネーション		
3	演習	ストレッチ・コンビネーションを長くして振り憶えの強化		
4	演習	ストレッチ・クロスフロア・タンジュ等基礎メイン		
5	演習	ストレッチ・プリエ・タンジュ・ジャンプ強化		
6	演習	表現力を押し出したコンビネーションで個性を出す練習		
7	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・クロスフロア・コンビネーション		
8	演習	ストレッチ・アイソレーション・プリエ・タンジュ・コンビネーション		
9	演習	協調性をつける為グループでコンビネーション		
10	演習	協調性をつける為グループでコンビネーション		
11	演習	ストレッチ・プリエ・タンジュ・クロスフロア・コンビネーション		
12	演習	試験振り渡しと振り返り		
13	演習	試験と振り返り		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習		
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験:100%	
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ		苦手なことを主にがんばって努力して欲しいです。		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ヴォーカルコミュニケーション	
授業名	Working Skill I	担当教員名	iri
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	3年次 前期
教室		教室	
授業の到達目標 音楽の様々な仕事現場で対応出来るスキル獲得。用語、セオリーなどを習得し、音楽的コミュニケーション向上を測る。			
授業の内容 Exerciseプリントを用いて、リズムやハーモニー、グルーヴなどの基礎練習。 スタンダード曲を演習。メインボーカルはもちろん、主にコーラスワークを練習。			
【実務経験】 1996年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業後、ゴスペルやボーカルグループなどの活動と平行して、2000年頃よりボーカルインストラクターとして活動開始。現在まで様々なアーティストを育成、排出している。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	音楽の仕事とは？などディスカッション。(スキルの必要性、マインドの話など。)	
2	演習	ExerciseプリントNo.1①・課題曲演習	
3	演習	ExerciseプリントNo.1②・課題曲演習	
4	演習	ExerciseプリントNo.1③・課題曲演習	
5	演習	ExerciseプリントNo.1④・課題曲演習	
6	演習	ExerciseプリントNo.1⑤・課題曲演習	
7	演習	ExerciseプリントNo.1⑥・課題曲演習	
8	演習	ExerciseプリントNo.1⑦・課題曲演習	
9	演習	ExerciseプリントNo.1⑧・課題曲演習	
10	演習	ExerciseプリントNo.2①・課題曲演習	
11	演習	ExerciseプリントNo.2②・課題曲演習	
12	演習	ExerciseプリントNo.2③・課題曲演習	
13	演習	ExerciseプリントNo.2④・課題曲演習	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習		課題曲譜面作成、予習、復習。アンサンブル、コーラス練習。	
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験 100%
教材	教科書	Exerciseプリント	
	参考書		
学生への メッセージ		自身のバンド、スタジオミュージシャン、サポートミュージシャンなど、 様々な音楽の現場で即戦力となるスキルを習得する科目です。 スキルを増やし、音楽が今よりもさらに楽しくなる感覚を感じて欲しいです！	

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		インテンシブコミュニケーション	
授業名	インテンシブコミュニケーションⅠ	担当教員名	Claudio
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	英語を用いてダンスレッスンが出来るようになる。		
授業の内容	外国講師に向けて模擬ダンスレッスンを行い、英語会話力、コミュニケーション力を学ぶ。		
【実務経験】			
2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり			
日程	授業形態	内容	
1	演習	ダンスレッスンに必要な単語を覚える	
2	演習	ダンスレッスンに必要な単語を覚える	
3	演習	ダンスレッスンに必要な単語を覚える	
4	演習	ダンスレッスンに必要な単語を覚える	
5	演習	ダンスレッスンに必要な単語を覚える	
6	演習	ダンスレッスンに必要な文章を覚える	
7	演習	ダンスレッスンに必要な文章を覚える	
8	演習	ダンスレッスンに必要な文章を覚える	
9	演習	ダンスレッスンに必要な文章を覚える	
10	演習	ダンスレッスンに必要な文章を覚える	
11	演習	ダンスレッスンに必要な文章を覚える	
12	演習	ダンスレッスンに必要な文章を覚える	
13	演習	総復習	
14	演習	試験と振り返り	
15	演習	試験返却、解説、ポストテストと振り返り	
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験100%	
教材	教科書	Speak Now1	
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		インテンシブコミュニケーション	
授業名	インテンシブコミュニケーションⅡ	担当教員名	Claudio
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	英語を用いてダンスレッスンが出来るようになる。		
授業の内容	外国講師に向けて模擬ダンスレッスンを行い、英語会話力、コミュニケーション力を学ぶ。		
【実務経験】 2014年より高校や大学、また子供から大人まで幅広い世代への英会話講師の経験あり			
日程	授業形態	内容	
1	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
2	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
3	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
4	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
5	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
6	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
7	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
8	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
9	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
10	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
11	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
12	演習	英語によるダンスレッスンの運営	
13	演習	総復習	
14	演習	本試験と振り返り	
15	演習	試験返却、解説、ポストテストと振り返り	
準備学習 時間外学習	授業では配布したプリントを復習しておきましょう。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目			ヴォーカルコミュニケーション	
授業名	SPL I		担当教員名	吉村元子
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	個々の音楽的なスキルアップをはかり、音楽活動の在り方を考え、具体化していくことができるようになる。			
授業の内容	各学生に応じたヴォーカルレッスンに必要な音楽的知識を習得し、個々の音楽活動に繋がるようにする。またグループレッスンの中での気づきや相互協力によって、コミュニケーション能力を養う。			
【実務経験】1998年大阪音楽大学声楽学科卒業。教員免許取得。在学中よりバックコーラスとして宝塚歌劇団や、TV、CM、コンサート、舞台等に出演。オペラや演奏会など活動を続けながら、2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	それぞれが目指す活動内容に応じた目標を設定する。		
2	演習	ヴォーカルレッスン		
3	演習	ヴォーカルレッスン		
4	演習	ヴォーカルレッスン		
5	演習	ヴォーカルレッスン		
6	演習	ヴォーカルレッスン		
7	演習	ヴォーカルレッスン		
8	演習	ヴォーカルレッスン(新人発掘プレゼンテーション準備)		
9	演習	ヴォーカルレッスン(新人発掘プレゼンテーション準備)		
10	演習	ヴォーカルレッスン		
11	演習	ヴォーカルレッスン		
12	演習	ヴォーカルレッスン		
13	演習	ヴォーカルレッスン(前期の成果発表)		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	課題とする楽曲の研究と歌唱練習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	継続は力なり。プライベートレッスンで自分にしかない声の魅力を知り、練習を積み重ねていきましょう。			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目			ヴォーカルコミュニケーション	
授業名	SPLⅡ		担当教員名	吉村元子
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
個々の音楽的なスキルアップをはかり、音楽活動の在り方を考え、具体化していくことができるようになる。				
授業の内容				
各学生に応じたヴォーカルレッスンに必要な音楽的知識を習得し、個々の音楽活動に繋がるようにする。またグループレッスンの中での気づきや相互協力によって、コミュニケーション能力を養う。				
【実務経験】1998年大阪音楽大学声楽学科卒業。教員免許取得。在学中よりバックコーラスとして宝塚歌劇団や、TV、CM、コンサート、舞台等に出演。オペラや演奏会など活動を続けながら、2000年よりヴォイストレーナーとして指導にあたり、数々のアーティストを輩出している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	それぞれが目指す活動内容に応じた目標を設定する。		
2	演習	個々の目標に応じたヴォーカルレッスンでスキルアップをはかる。		
3	演習	個々の目標に応じたヴォーカルレッスンでスキルアップをはかる。		
4	演習	個々の目標に応じたヴォーカルレッスンでスキルアップをはかる。		
5	演習	ステージを想定したパフォーマンスも含めてのスキルアップをはかる。		
6	演習	ステージを想定したパフォーマンスも含めてのスキルアップをはかる。		
7	演習	フルコーラス発表(映像をとり全員でチェックすることにより、課題を明確にすることができる)		
8	演習	個々の目標に応じたヴォーカルレッスンでスキルアップをはかる。		
9	演習	個々の目標に応じたヴォーカルレッスンでスキルアップをはかる。		
10	演習	個々の目標に応じたヴォーカルレッスンでスキルアップをはかる。		
11	演習	ステージを想定したパフォーマンスも含めてのスキルアップをはかる。		
12	演習	ステージを想定したパフォーマンスも含めてのスキルアップをはかる。		
13	演習	後期の成果発表		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習		課題とする楽曲の研究と歌唱練習		
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%	
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ		継続は力なり。プライベートレッスンで自分にしかない声の魅力を知り、練習を積み重ねていきましょう。		

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	舞台プロジェクト（リコモーション）Ⅴ	担当教員名	中西 邦子（リコモーション）	
時間数	90	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動			
授業の内容	<p>月1回ベースでのグループ発表。（5～10分程度） あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。 発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。</p> <p>【実務経験】 大阪に拠点を持つプロダクション「リコモーション」所属の俳優。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業内容説明。基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
2	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
3	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
4	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
5	演習	発表①		
6	演習	基礎練、発声。発表②に向けての創作活動。		
7	演習	基礎練、発声。発表②に向けての創作活動。		
8	演習	基礎練、発声。発表②に向けての創作活動。		
9	演習	発表②		
10	演習	基礎練、発声。発表③に向けての創作活動。		
11	演習	基礎練、発声。発表③に向けての創作活動。		
12	演習	発表③。夏期課題説明。		
13	演習	夏期課題発表		
14	演習			
15	演習			
準備学習 時間外学習	発声・滑舌等の基礎的な練習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験100%		
教材	教科書	特になし		
	参考書	特になし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション		
授業名	舞台プロジェクト（リコモーション）Ⅵ	担当教員名	中西 邦子（リコモーション）	
時間数	90	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	後期の舞台公演に向けての基礎技術、グループ行動			
授業の内容	<p>月1回ベースでのグループ発表。（5～10分程度） あらかじめ決めたテーマに基づき学生自身で台本を作成。 発表を通し、発声・滑舌の基礎技術、観客への伝え方、また自分自身の客観的な視点などを向上させる。</p> <p>【実務経験】 大阪に拠点を持つプロダクション「リコモーション」所属の俳優。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
2	演習	基礎練、発声。発表①に向けての創作活動。		
3	演習	発表①		
4	演習	公演出演者オーディション実施・決定		
5	演習	稽古開始。台本（一部）使用。		
6	演習	稽古		
7	演習	稽古。上演台本完成予定。キャスト決定。		
8	演習	稽古		
9	演習	稽古		
10	演習	稽古		
11	演習	稽古		
12	演習	稽古。以降集中稽古。		
13	演習	卒業・進級公演の総括。		
14	演習			
15	演習			
準備学習 時間外学習	発声・滑舌等の基礎的な練習			
成績評価	1. 実技試験（％） 2. 筆記試験（％） 3. 課題（％）	実技試験100%		
教材	教科書	特になし		
	参考書	特になし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		アクティングコミュニケーション	
授業名	2.5次元プロジェクトⅢ	担当教員名	早川 康介(SET)
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	IPを用いた2.5次元の舞台制作を通じて、技術的な向上、プロとしての意識を獲得する。		
授業の内容	2.5次元の舞台制作を通じて、芝居の基本から本番までの流れを経験する。		
【実務経験】 スーパー・エキセントリックシアター所属の演出家を作品によって手配。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	演技基礎1	
2	演習	演技基礎2	
3	演習	オーディション	
4	演習	衣装合わせ	
5	演習	メイク合わせ	
6	演習	台本を使用した演技指導1	
7	演習	台本を使用した演技指導2	
8	演習	台本を使用した演技指導3	
9	演習	通し稽古1	
10	演習	通し稽古2	
11	演習	通し稽古3	
12	演習	ゲネプロ	
13	演習	本番	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習	授業内容をよく理解し翌週までに練習をしておく		
成績評価	1. 演技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	1.演技試験を100%	
教材	教科書	オリジナル台本	
	参考書	なし	
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ダンスプロジェクト		
授業名	ダンスプロジェクトV	担当教員名	IPPEI	
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。			
授業の内容	振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。			
【実務経験】	アーティストの振付、ライブ演出、ダンサーディレクション。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	楽曲決め		
2	演習	振付制作		
3	演習	振付構成制作		
4	演習	衣裳制作		
5	演習	照明案制作		
6	演習	最終リハーサル		
7	演習	本番及び試験		
8	演習	楽曲決め		
9	演習	振付制作		
10	演習	振付構成制作		
11	演習	衣裳制作		
12	演習	照明案制作		
13	演習	照明案制作		
14	演習	本番及び試験		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ダンスプロジェクト		
授業名	ダンスプロジェクトⅥ	担当教員名	IPPEI	
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	ダンスイベントに向けて、ダンス作品制作が出来るようになる。			
授業の内容	振付、構成、演出、音響、照明などの基礎知識をまなび、本番に向けての制作全般を学ぶ。本番後フィードバックを行い、次の作品制作へと繋げていく。			
【実務経験】	アーティストの振付、ライブ演出、ダンサーディレクション。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	楽曲決め		
2	演習	振付制作		
3	演習	振付構成制作		
4	演習	衣裳制作		
5	演習	照明案制作		
6	演習	最終リハーサル		
7	演習	本番及び試験		
8	演習	楽曲決め		
9	演習	振付制作		
10	演習	振付構成制作		
11	演習	衣裳制作		
12	演習	照明案制作		
13	演習	照明案制作		
14	演習	本番及び試験		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験:100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		スタッフワークプロジェクト		
科目名	舞台制作3		担当教員名	水戸 裕
時間数	120	必修・選択	配当年次	3年次
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	<p>舞台のあらゆる技術と知識は、繰り返し実習する事で身に着ける事ができる事を体得する。また、プロとしてのあらゆる方法や理屈を身に着けるためには、道理を深く考える必要がある事を促す。それらを教室で行う基礎技術と理論に加え、授業内実習、校内イベント等で美術製作・進行・資料作りを繰り返し経験させる。我々スタッフの仕事は本番をやり遂げる事である。本番を体験しなければ理解できない事が数多くある。本番を体験する事は、応用力を身に着ける事になる。校内イベントを含め、数多く本番体験をする事で即戦力を高めさせる。最後に外部ホールで行われるミュージカルは、集約されたものとなり、広い空間に適応する事を学ぶ事になる。</p>			
授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎実習を通して美術製作・進行・資料作りなどの知識と感覚を身に着ける ・ミュージカル「明日への扉」の成功を最終課題とし、あらゆるイベントの本番を成功させる事を目標とする 			
【実務経験】				
吉本新喜劇やV6、KinKiKids、関ジャニ∞、ミュージカル『ピーターパン』などの舞台監督・舞台制作を手がける。				
回数	演習	内容		
1	演習	舞台の基礎知識①～ガイダンス・舞台全般知識・入学式の進行と美術を確認する		
2	演習	舞台の基礎知識②～舞台機構・舞台名称などの舞台知識		
3	演習	舞台の基礎知識③～寸法、図面、タイムスケジュール		
4	演習	舞台の基礎知識④～木工製作、木材知識、工具知識		
5	演習	基礎製作Ⅰ①～学園祭対応製作、木工作品製作		
6	演習	基礎製作Ⅰ②～学園祭対応製作、木工作品製作		
7	演習	基礎製作Ⅰ③～学園祭対応製作、木工作品製作		
8	演習	図面製作基礎知識①～製図とは何か、手書き製作する		
9	演習	図面製作基礎知識②～CADソフト実習		
10	演習	図面製作基礎知識③～CADソフト実習		
11	演習	「明日への扉」対応実習①～全体概要、解説		
12	演習	「明日への扉」対応実習②～図面、スケジュール、進行表		
13	演習	「明日への扉」対応実習③～小道具製作、進行確認		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	・継続して繰り返し行う事が大切である。デザインや製作の課題を提出する事で次の時間につなげる事ができる			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験 100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	美術製作も進行も、本番を迎える事が大事。本番が成功するために学ぶ。成功する達成感は素晴らしい。そのためにコツコツと同じ事を何度でも繰り返し作業して身につけよう。			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目			アクティングプロジェクト	
授業名	アクティングプロジェクトV		担当教員名	中西 邦子(リコモーション)
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。			
授業の内容	スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。			
【実務経験】	大阪に拠点を持つプロダクション「リコモーション」所属俳優。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	台本制作		
2	演習	台本制作		
3	演習	台本制作		
4	演習	台本制作		
5	演習	台本制作		
6	演習	キャスティングオーディション		
7	演習	演出		
8	演習	演出		
9	演習	演出		
10	演習	演出		
11	演習	演出		
12	演習	演出		
13	演習	演出		
14	演習	本番		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技評価: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目			アクティングプロジェクト	
授業名	アクティングプロジェクトVI		担当教員名	中西 邦子(リコモーション)
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	舞台演劇の本番に向けて、エチュード、スクリプトワークを通じて演出、構成を学び、チームでの舞台演劇制作が出来るようになる。			
授業の内容	スクリプトアナライズ、インプロビゼーションなどで学んだ演技の基礎から発展させ自分自身の演出や構成での舞台制作を行う。本番制作までの過程を通じて、顧客満足の考え方、チームマネジメント、セルフマネジメントを学ぶ。			
【実務経験】 大阪に拠点を持つプロダクション「リコモーション」所属俳優。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	台本制作		
2	演習	台本制作		
3	演習	台本制作		
4	演習	台本制作		
5	演習	台本制作		
6	演習	キャスティングオーディション		
7	演習	演出		
8	演習	演出		
9	演習	演出		
10	演習	演出		
11	演習	演出		
12	演習	演出		
13	演習	演出		
14	演習	本番		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	準備運動ストレッチなど、前回の授業の復習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技評価: 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ヴォーカルプロジェクト		
授業名	ヴォーカルプロジェクトV	担当教員名	峯口弥生	
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標		1: ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する2: 学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力の概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3: それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4: 外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5: 全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る		
授業の内容		実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ（編曲）されたボーカル＋コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるよう促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。		
【実務経験】		1993年 大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業、1996年 大阪音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修了後、オペラ、コンサートなど数々の演奏活動を経て、2001年よりヴォイストレーナーとして活動。多くのヴォーカリストを輩出している。		
回数	授業形態	内容		
1	演習	ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック		
2	演習	課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション		
3	演習	発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習		
4	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
5	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
6	演習	学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング		
7	演習	学園祭 本番に向けてのリハーサル		
8	演習	学園祭反省会＋今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布		
9	演習	発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習		
10	演習	練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習		
11	演習	発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討		
12	演習	発声練習 課題曲振り渡しアンサンブル練習		
13	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
14	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
15	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
準備学習 時間外学習		自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン（楽譜音源管理）衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか		
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技試験 100%	
教材	教科書	新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット		
	参考書	[子供のためのソルフェージュ]（音楽之友社）全巻 [全訳コールユープンゲン]（全音楽譜出版社）1～3巻 ※いずれも抜粋使用		
学生へのメッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		ヴォーカルプロジェクト		
授業名	ヴォーカルプロジェクトⅥ	担当教員名	峯口弥生	
時間数	30	必修・選択	配当年度	
曜日・時限		選択	3年次 後期	
教室		教室		
授業の到達目標				
1：ショークワイア用にアレンジされた楽譜を使用することで音楽理論やソルフェージュ、音楽用語などの総合的な活用を理解実践する2：学生リーダー制を導入することで自身の得意分野を生かした相互協力の概念、調整能力を養いエンターテインメント業界で求められるコミュニケーションを実践する 3：それぞれの能力に応じた役回りでベストなパフォーマンスを行う 4：外部出演の依頼に応える事の出来る音楽的な基礎体力を養う 5：全ての過程を通して練習の重要性を理解し、全員が確かな成功体験を得る				
授業の内容				
※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する				
実際の現場経験や業務内容を基に、現場で必要になるリアルなノウハウを伝えていきます。現場で必要になる専門的な音楽知識、技術を具体的に教材に盛り込むために当講義用にアレンジ（編曲）されたボーカル＋コーラスの譜面を使用し、制作過程も含めて理解できるよう促します。それぞれに役回りを持たせ協力しながら練習や準備を行う中で、各学生の特徴を活かし全員が輝けるパフォーマンスを目指します。発表時に全員が達成感を得られるよう、実際の現場における本番までの過程を踏襲しながら学んでいきます。				
【実務経験】				
1993年 大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業、1996年 大阪音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻修了後、オペラ、コンサートなど数々の演奏活動を経て、2001年よりヴォイストレーナーとして活動。多くのヴォーカリストを輩出している。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	ショークワイア概観 履修学生のレベルチェック		
2	演習	課題曲の配布 パート分け リーダー決めと練習方針についてディスカッション		
3	演習	発声指導 パートリーダー決め パートミーティング 課題曲音取り練習		
4	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
5	演習	発声練習 学園祭楽曲練習 学園祭演出内容全体ディスカッション		
6	演習	学園祭楽曲練習 学園祭詳細ミーティング		
7	演習	学園祭 本番に向けてのリハーサル		
8	演習	学園祭反省会＋今後の練習計画についてディスカッション 課題曲の配布		
9	演習	発声練習 課題曲音取り練習 アンサンブル練習		
10	演習	練習状況についてミーティング 発声練習 課題曲アンサンブル練習		
11	演習	発声練習 課題曲アンサンブル練習 ステージングの検討		
12	演習	発声練習 課題曲振り渡しアンサンブル練習		
13	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
14	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
15	演習	発声練習 課題曲ステージン付きアンサンブル練習		
準備学習 時間外学習		自主練習の計画と実践、参加状況管理 リーダー主催ミーティングと講師への報告、ライブラリアン（楽譜音源管理）衣装管理、次回授業の準備物周知連絡ほか		
成績評価		1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)		
		実技試験 100%		
教材	教科書	新規アレンジショークワイア用楽譜と仮録カラオケ 市販ショークワイア用楽譜と専用カラオケのセット		
	参考書	[子供のためのソルフェージュ]（音楽之友社）全巻 [全訳コールユープンゲン]（全音楽譜出版社）1～3巻 ※いずれも抜粋使用		
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		情報技術	
授業名	情報技術Ⅰ	担当教員名	新子 広美
時間数	30 必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限	必修	教室	
授業の到達目標	エクセル・ワード・パワーポイントの基本的な操作を覚え、データづくりが出来るようになる。		
授業の内容	エクセル・ワード・パワーポイントの基本操作を学ぶ。		
【実務経験】	20年以上高等教育機関で情報教育に携わる、情報リテラシー・統計処理（データマイニング）の講座を担当、都市情報学 修士		
回数	授業形態	内容	
1	演習	インターネットガイダンス・Wordの基本画面の説明および文書入力	
2	演習	文書入力や編集および印刷	
3	演習	図形作成を身につける（ワードアート・クリップアート・オートシェイプ）	
4	演習	表作成を身につける	
5	演習	Excelの基本画面の説明およびデータの入力・編集	
6	演習	簡単な関数・表の編集	
7	演習	グラフの作成・編集	
8	演習	関数の使い方・データ形式の表示変更	
9	演習	総復習・試験練習	
10	演習	Word・Excel 試験	
11	演習	パワーポイント基本操作	
12	演習	パワーポイント基本操作	
13	演習	パワーポイント基本操作	
14	演習	パワーポイント基本操作	
15	演習	パワーポイント基本操作	
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験50%、課題50%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		情報技術	
授業名	情報技術Ⅱ	担当教員名	新子 広美
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	エクセル・ワード・パワーポイントを用い、プレゼンテーションが出来るようになる。		
授業の内容	エクセル・ワード・パワーポイントの基本操作と応用を学び、プレゼンツールとして使用できる技術を総合的に学びます。		
【実務経験】	20年以上高等教育機関で情報教育に携わる、情報リテラシー・統計処理（データマイニング）の講座を担当、都市情報学 修士		
回数	授業形態	内容	
1	演習	インターネットガイダンス・Wordの基本画面の説明および文書入力の実用	
2	演習	文書入力や編集および印刷の実用	
3	演習	図形作成を身につける（ワードアート・クリップアート・オートシェイプ）の実用	
4	演習	表作成を身につけるの実用	
5	演習	Excelの基本画面の説明およびデータの入力・編集の実用	
6	演習	簡単な関数・表の編集の実用	
7	演習	グラフの作成・編集の実用	
8	演習	関数の使い方・データ形式の表示変更の実用	
9	演習	総復習・試験練習の実用	
10	演習	Word・Excel 試験②	
11	演習	パワーポイントを用いたプレゼンテーションの発表	
12	演習	パワーポイントを用いたプレゼンテーションの発表	
13	演習	パワーポイントを用いたプレゼンテーションの発表	
14	演習	パワーポイントを用いたプレゼンテーションの発表	
15	演習	パワーポイントを用いたプレゼンテーションの発表	
準備学習 時間外学習	講義内容の範囲の予習復習		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	実技試験50%、課題50%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		キャリア教育	
科目名	キャリア教育Ⅴ	担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。</p>		
授業の内容	<p>グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。</p>		
【実務経験】	ユニバーサルスタジオジャパンでエンターティナーとして実務。バックダンサー・ダンスインストラクターを経験。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	ITリテラシーを理解し、IT環境に対応できるようになる。	
2	演習	守秘義務を理解し、守れるようになる。	
3	演習	デビューバンク等ビューツールの作成	
4	演習	舞台用語①	
5	演習	目標シート制作	
6	演習	個人サンプル制作について	
7	演習	スケジュール管理について	
8	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス①	
9	演習	話し方・聞き方講座	
10	演習	PDCAサイクルについて	
11	演習	個人情報の取り扱いについて	
12	演習	デビューマップ制作	
13	演習	コンセンサスを取るためのワークショップ	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	課題 (100%)	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		キャリア教育	
科目名	キャリア教育Ⅵ	担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	<p>人間教育として社会出ていく人間的基盤の構築と、専門学校生活に伴う基本的な心構えやグループワークに伴う他者と自我の認識の構築。社会に出ていくための基本的なマナーの構築。TPOや常識的な感覚を養う。また報・連・相の徹底や、クラスのノームの構築と健全なクラス運営を目指す。</p>		
授業の内容	<p>グループ構成の認識、メールのマナーや社会常識のマナー講義、マナー講座、社会生活を営む上での心構えなど社会人基礎力向上のための講座。</p>		
【実務経験】	ユニバーサルスタジオジャパンでエンターティナーとして実務。バックダンサー・ダンスインストラクターを経験。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス②	
2	演習	新人発掘プレゼンテーションガイダンス③	
3	演習	舞台用語②	
4	演習	舞台用語③	
5	演習	顧客の考え方	
6	演習	報告・連絡・相談とおひたし	
7	演習	プレゼンツール作成について	
8	演習	社会人基礎力①主体性	
9	演習	社会人基礎力②働きかけ力	
10	演習	社会人基礎力③実行力	
11	演習	社会人基礎力④課題発見力	
12	演習	社会人基礎力⑤計画力	
13	演習	社会人基礎力⑥創造力	
14		(ワークショップ)	
15		(ワークショップ)	
準備学習 時間外学習			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%)	課題 (100%)	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ			

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		イベントディレクション		
授業名	イベントディレクションⅠ		担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
学内イベントをプレイヤーではなく、ディレクターとしての立ち位置で参加することにより、イベント制作の流れを理解する。イベントの制作業務全般について、理解し、整理することが出来る。				
授業の内容				
学内イベントにおいて、コンセプトミーティングから参加をし、プロデューサー・演出家・テクニカルスタッフ・出演者らと連携をとり、スムーズなイベント運営、制作業務を行う。				
【実務経験】				
USJにてエンターティナーとして実務。バックダンサー・インストラクターを経験。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトミーティング		
2	演習	制作会議(組織図づくり)		
3	演習	制作会議(全体スケジュール)		
4	演習	制作会議(オーディション)		
5	演習	制作会議(リハーサルスケジュール)		
6	演習	出演者オーディション		
7	演習	制作会議(テクニカルミーティング)		
8	演習	制作会議(出演者ミーティング)		
9	演習	制作会議(外部リハーサルに向けて)		
10	演習	外部リハーサル		
11	演習	制作会議(全体ミーティング)		
12	演習	本番にむけた最終ミーティング		
13	演習	イベント本番		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	制作会議の議題・議事録等設定			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		イベントディレクション		
授業名	イベントディレクションⅡ		担当教員名	照井 裕章
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標				
学内イベントをプレイヤーではなく、ディレクターとしての立ち位置で参加することにより、イベント制作の流れを理解する。イベントの制作業務全般について、理解し、整理することが出来る。				
授業の内容				
学内イベントにおいて、コンセプトミーティングから参加をし、プロデューサー・演出家・テクニカルスタッフ・出演者らと連携をとり、スムーズなイベント運営、制作業務を行う。				
【実務経験】 USJにてエンターティナーとして実務。バックダンサー・インストラクターを経験。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトミーティング		
2	演習	制作会議(組織図づくり)		
3	演習	制作会議(全体スケジュール)		
4	演習	制作会議(オーディション)		
5	演習	制作会議(リハーサルスケジュール)		
6	演習	出演者オーディション		
7	演習	制作会議(テクニカルミーティング)		
8	演習	制作会議(出演者ミーティング)		
9	演習	制作会議(外部リハーサルに向けて)		
10	演習	外部リハーサル		
11	演習	制作会議(全体ミーティング)		
12	演習	本番にむけた最終ミーティング		
13	演習	イベント本番		
14		(ワークショップ)		
15		(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	制作会議の議題・議事録等設定			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		インテンシブパフォーマンスⅠ		
科目名	インテンシブパフォーマンスⅠ	担当教員名	照井 裕章	
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	1・2年次に教養科目・専門科目・協働科目で学んだことを活かして、独自のパフォーマンスを構築することが出来る。			
授業の内容	独自のパフォーマンスを構築するために、自分の個性・出来ること・やりたいことを明確に理解し、必要な協力を得るための方法を学び、具現化していく。			
【実務経験】	USJにてエンターティナーとして実務。バックダンサー・インストラクターを経験。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトワーク		
2	演習	パフォーマンス制作		
3	演習	パフォーマンスチェック		
4	演習	パフォーマンス制作		
5	演習	パフォーマンスチェック		
6	演習	パフォーマンス制作		
7	演習	パフォーマンスチェック		
8	演習	パフォーマンス制作		
9	演習	パフォーマンスチェック		
10	演習	パフォーマンス制作		
11	演習	パフォーマンスチェック		
12	演習	直前リハーサル		
13	演習	直前リハーサル		
14	演習	中間発表(試験)		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	授業で制作したパフォーマンスを協力者に伝える。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		インテンシブパフォーマンスⅡ		
科目名	インテンシブパフォーマンスⅡ	担当教員名	照井 裕章	
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	1・2年次に教養科目・専門科目・協働科目で学んだことを活かして、独自のパフォーマンスを構築することが出来る。			
授業の内容	独自のパフォーマンスを構築するために、自分の個性・出来ること・やりたいことを明確に理解し、必要な協力を得るための方法を学び、具現化していく。			
【実務経験】	USJにてエンターティナーとして実務。バックダンサー・インストラクターを経験。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンセプトワーク		
2	演習	パフォーマンス制作		
3	演習	パフォーマンスチェック		
4	演習	パフォーマンス制作		
5	演習	パフォーマンスチェック		
6	演習	パフォーマンス制作		
7	演習	パフォーマンスチェック		
8	演習	パフォーマンス制作		
9	演習	パフォーマンスチェック		
10	演習	パフォーマンス制作		
11	演習	パフォーマンスチェック		
12	演習	直前リハーサル		
13	演習	直前リハーサル		
14	演習	卒業制作展にて発表(試験)		
15	演習	振り返りと反省会		
準備学習 時間外学習	授業で制作したパフォーマンスを協力者に伝える。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		セルフプロデュース		
科目名	セルフプロデュースⅠ		担当教員名	深川 靖代
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標		アントレプレナーとして業界で働くために必要な自分自身をプロデュースするための知識・テクノロジーを身につける。		
授業の内容		1・2年次で学んだパソコンスキルを用いて、自分自身を世の中に向けて発信する方法を学ぶ。自分自身のストロングポイント・特性を理解し、PDCAサイクルを回すことによりさらなる強みの強化につなげていく。		
【実務経験】		プロダクション業務(マネジメント、CD制作等)、レコード会社セールス・プロモーター、コンサートプロモーター		
回数	授業形態	内容		
1	演習	2年間の振り返り		
2	演習	自分自身のストロングポイントについての理解		
3	演習	自分自身のウィークポイントについての理解		
4	演習	プロモーションツール制作(写真)		
5	演習	プロモーションツール制作(フライヤー)		
6	演習	プロモーションツール制作(動画)		
7	演習	プロモーションツール制作(音源)		
8	演習	SNS概論		
9	演習	SNS概論		
10	演習	SNSを利用したプロモーションについて		
11	演習	SNSを利用したプロモーションについて		
12	演習	デザイン制作		
13	演習	デザイン制作		
14	演習	デザイン制作		
15	演習	デザイン制作		
準備学習 時間外学習		授業で制作したパフォーマンスを協力者に伝える。		
成績評価		1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題100%	
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目		セルフプロデュース		
科目名	セルフプロデュースⅡ	担当教員名	深川 靖代	
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	アントレプレナーとして業界で働くために必要な自分自身をプロデュースするための知識・テクノロジーを身につける。			
授業の内容	1・2年次で学んだパソコンスキルを用いて、自分自身を世の中に向けて発信する方法を学ぶ。自分自身のストロングポイント・特性を理解し、PDCAサイクルを回すことによりさらなる強みの強化につなげていく。			
【実務経験】	プロダクション業務(マネジメント、CD制作等)、レコード会社セールス・プロモーター、コンサートプロモーター			
回数	授業形態	内容		
1	演習	デザイン制作		
2	演習	デザイン制作		
3	演習	名刺制作		
4	演習	名刺制作		
5	演習	ホームページ制作		
6	演習	ホームページ制作		
7	演習	ホームページ制作		
8	演習	ホームページ制作		
9	演習	ホームページ制作		
10	演習	SNS用コンテンツ作り		
11	演習	SNS用コンテンツ作り		
12	演習	SNS用コンテンツ作り		
13	演習	SNS用コンテンツ作り		
14	演習	SNS用コンテンツ作り		
15	演習	SNS用コンテンツ作り		
準備学習 時間外学習	授業で制作したパフォーマンスを協力者に伝える。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

総合芸術科昼間部Ⅰ部 シラバス

授業科目			専門留学	
科目名	専門留学Ⅰ		担当教員名	照井 裕章
時間数	180	必修・選択	配当年次	3年次
曜日・時限		選択	教室	
授業の到達目標	ブロードウェイダンスセンターもしくはペリダンスセンターなど海外提携先にて3ヶ月から1年間の海外専門留学を通して、現地での専門技術、コミュニケーション技術、国際感覚を身につける。			
授業の内容	ブロードウェイダンスセンターもしくはペリダンスセンターなど海外提携先にて3ヶ月から1年間の海外専門留学。			
【実務経験】 USJにてエンターティナーとして実務。バックダンサー・インストラクターを経験。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	専門留学		
2	演習	専門留学		
3	演習	専門留学		
4	演習	専門留学		
5	演習	専門留学		
6	演習	専門留学		
7	演習	専門留学		
8	演習	専門留学		
9	演習	専門留学		
10	演習	専門留学		
11	演習	専門留学		
12	演習	専門留学		
13	演習	専門留学		
14	演習	専門留学		
15	演習	専門留学		
準備学習 時間外学習	毎週の留学制作レポート報告			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				